

令和6年度 事業報告

令和 6年 4月 1日から
令和 7年 3月 31日まで

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会

目 次

| | | |
|-----|---------------|----|
| I | 現況 | 1 |
| 1 | 事業 | 1 |
| 2 | 役員等 | 1 |
| 3 | 評議員 | 1 |
| 4 | 顧問等 | 1 |
| 5 | 事務局 | 2 |
| 6 | 地区組織 | 2 |
| 7 | 事業資金 | 2 |
| II | 評議員会・理事会・幹事会等 | 3 |
| 1 | 評議員会 | 3 |
| 2 | 理事会 | 3 |
| 3 | 監事会 | 6 |
| III | 事業実施の概要 | 7 |
| 1 | 一般事業 | 7 |
| 2 | 普及事業 | 8 |
| 3 | 振興事業 | 10 |
| 4 | 助成事業 | 11 |
| IV | 届出・報告事項 | 18 |
| V | 附属明細書について | 19 |

I 現況

1 事業

本会の定款に掲げる事業は、次のとおりである。

- (1) 団体の行う吟剣詩舞に関する協力および援助
- (2) 吟剣詩舞に関する研究
- (3) 指導者の養成ならびに研究会および講演会等の開催
- (4) 発表会およびコンクールの開催
- (5) 吟剣詩舞功労者の表彰
- (6) 会誌および図書の刊行
- (7) その他目的を達成するために必要な事業

2 役員等（令和7年3月31日現在）

代表理事

| | |
|------------|---|
| 会 長（代表理事） | 沼崎 富（星翁） |
| 副会長 | 徳田良子（寿風）、早淵__肇（鯉將） |
| 専務理事（代表理事） | 池内賢二 |
| 理 事 | 久米信行、徳永洋子、武井涼子、吉田茂男（魁桜） 早淵淳子（河野鶴聲）、宮川 進（紫朋） 妹尾桂子（藤上翔山）、安田幸代（水鈴） 入倉幸一（昭星）、藤本大輔（誠堂）、清水 一（錦洲） 福井美行（鈴木吟亮）、田中文夫（国臣） 淡谷節子（遠藤晃楓）、杉浦裕美（英容） 古川雅啓（壽泉）、伏尾画子（琵琶城） 高木法生（法洲）（理事 22名） |
| 監 事 | 渡部行光、村尾秀夫（監事 2名） |

3 評議員（令和7年3月31日現在）

加藤雅章、前田 晃、八代徹也、鷺野正明、
多田 満（正満）、八文字勝利（剛洲）、安永利一（江悠）
原 真人（青柳芳寿朗）、田中健治（岳藤）
山口英二（華雉）、横山信吾（精真）（評議員 11名）

4 顧問等（令和7年3月31日現在）

| | |
|---------|------|
| (1) 顧問 | 18名 |
| (2) 元老 | 77名 |
| (3) 参議 | 7名 |
| (4) 代議員 | 63名 |
| (5) 相談役 | 315名 |
| (6) 参与 | 331名 |

5 事務局（令和7年3月31日現在）

所在地 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル7階
常勤役員1名、職員5名

6 地区組織

本会には51の公認都道府県吟剣詩舞道総連盟（以下「公認総連盟」）があり、それぞれの地区に以下の8つの地区連絡協議会（以下「地区連協」）を設けている。

- (1) 北海道地区連絡協議会…中央、*南部*、*北部*、*東部*、*北紋*：5地域
- (2) 東北地区連絡協議会…青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島、新潟：7県
- (3) 東日本地区連絡協議会…栃木、群馬、茨城、千葉、埼玉、東京、神奈川、山梨：8都県
- (4) 中部地区連絡協議会…静岡、愛知、長野、富山、石川、福井、岐阜、三重：8県
- (5) 近畿地区連絡協議会…滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、*和歌山*：6府県
- (6) 中国地区連絡協議会…岡山、広島、山口、鳥取、島根：5県
- (7) 四国地区連絡協議会…香川、愛媛、徳島、高知：4県
- (8) 九州地区連絡協議会…福岡、大分、佐賀、長崎、宮崎、熊本、鹿児島、沖縄：8県

※斜体の総連盟は活動休止中

7 事業資金

本会の事業資金は、各種事業活動による事業収入、公益財団法人日本財団等からの助成金、寄附金による。

II 評議員会・理事会・監事会等

1 評議員会

(1) 第16回評議員会

決議日 令和6年6月24日(月)

開催場所 日本財団ビル 第1、2会議室(東京都港区)

決議事項

第1号議案 令和5年度事業報告及び決算報告の承認及び内閣府への報告書類提出に関する件
報告事項

- (1) 事業収益の推移について
- (2) 能登半島地震に対する寄付の報告について
- (3) 外部識者検討会の実施について
- (4) 当会の公式YouTubeの現状について
- (5) 吟剣詩舞道和歌集の編纂状況について
- (6) 月刊「吟剣詩舞」について

出席等 評議員数 出席8名、欠席3名(評議員11名中)

監事 出席2名(監事2名中) 理事 出席2名

2 理事会

(1) 第45回理事会

決議日 令和6年6月7日(金)

開催場所 日本教育会館 会議室(東京都千代田区)

決議事項

第1号議案 令和5年度事業報告及び決算報告の承認及び内閣府への報告書類提出に関する件
について

第2号議案 財団役員の追加選任について

報告事項

- (1) 業務執行状況について
- (2) 事業収益の推移について
- (3) 能登半島地震に対する寄付の報告について
- (4) 第2期「全国少壮吟詠家選考審査会」の応募について
- (5) 令和6年度夏季吟道大学について
- (6) 第4期「スーパーチーム」の応募について
- (7) 吟詠コンクールにおける身体的に特別な配慮を必要とする方への対応について
- (8) 第38回吟剣詩舞大賞選考委員会について
- (9) 令和6年度年会費の徴収について
- (10) 第4回宗家会長会議の開催について
- (11) 全国コンクールトロフィーの持ち回り制の変更について
- (12) 吟剣詩舞基礎調査の実施について
- (13) 外部識者検討会の実施について
- (14) 吟剣詩舞道和歌集の編纂状況について
- (15) 月刊「吟剣詩舞」について

(16) その他

出席等 理事 出席 17名、欠席 5名（理事 22名中）
監事 出席 2名（監事 2名中）

(2) 第46回理事会

決議日 令和6年8月15日（木）

開催場所 オンライン会議システムを使用して開催

決議事項

第1号議案 財団事務所の新オフィスへの移転と監理業務委託契約について
報告事項

- (1) 業務執行状況について
- (2) 令和6年度夏季吟道大学の報告について
- (3) 第48回全国高等学校総合文化祭の報告について
- (4) 外部識者検討会について
- (5) 全国コンクールトロフィーの持ち回り制の変更について
- (6) 令和7年度全国コンクール（吟詠・剣詩舞）の開催会場について
- (7) 吟剣詩舞道と歌集の編纂と発行について
- (8) 令和7年度「全国吟剣詩舞道大会」（日本武道館）の現状について
- (9) 全国コンクールの枠組み見直しについて
- (10) 月刊「吟剣詩舞」について
- (11) その他

出席等 理事 出席 18名、欠席 4名（理事 22名中）
監事 出席 2名（監事 2名中）

(3) 第47回理事会

決議日 令和6年9月15日（日）

開催場所 日本教育会館 会議室（東京都千代田区）

決議事項 なし

報告事項

- (1) 業務執行状況について
- (2) 令和7年度全国コンクールの枠組み見直しについて
- (3) 月刊「吟剣詩舞」の今後について
- (4) 令和7年度日本財団に対する申請について
- (5) 「第55回全国吟剣詩舞道大会」（日本武道館）について
- (6) 第2回外部識者検討会について
- (7) 令和7年度役員改選について
- (8) ハンセン病基金への募金について
- (9) 年会費徴収の状況について
- (10) その他

出席等 理事 出席 17名、欠席 5名（理事 22名中）
監事 出席 2名（監事 2名中）

(4) 第48回理事会

決議日 令和6年10月31日(木)

開催場所 オンライン会議システムを使用して開催

決議事項

第1号議案 令和7年度全国コンクールの枠組み見直しについて

報告事項

- (1) 業務執行状況について
- (2) 第54回全国吟剣詩舞道大会について
- (3) 第55回全国吟剣詩舞道大会(日本武道館)について
- (4) 月刊「吟剣詩舞」の購読目標について
- (5) 外部識者検討会について
- (6) スカンジナビア・ニッポン・ササカワ財団公演について
- (7) 令和7年度伝統文化親子教室事業「統括実施型」募集について
- (8) 文化庁事業「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業」について
- (9) 吟剣詩舞道和歌集について
- (10) 内閣府立入検査について
- (11) 日本財団関連財団役員会議について
- (12) その他

出席等 理事 出席17名、欠席5名(理事22名中)

監事 出席2名(監事2名中)

(5) 第49回理事会

決議日 令和7年2月6日(木)

開催場所 オンライン会議システムを使用して開催

決議事項

第1号議案 コンプライアンス規程について

第2号議案 第54回全国吟剣詩舞道大会に関わる奉賛金等について

第3号議案 「吟剣詩舞道和歌集」発行に関わる契約について

報告事項

- (1) 業務執行状況について
- (2) 令和6年度剣詩舞道大学について
- (3) 令和6年度「全国少壮吟詠家選考審査会」審査会について
- (4) 第55回全国吟剣詩舞道大会について
- (5) 和歌山県吟剣詩舞道総連盟の休会について
- (6) 吟剣詩舞基礎調査の結果について
- (7) 令和7年度「全国少壮吟詠家選考審査会」の募集について
- (8) 第4回宗家・会長会議について
- (9) 内閣府立入検査について
- (10) 第54回全国吟剣詩舞道大会への倉敷市からの補助金について
- (11) 年会費未払い者への対応について

(12) 月刊「吟剣詩舞」の購読状況について

(13) その他

出席等 理事 出席 16名、欠席 6名（理事 22名中）

監事 出席 2名（監事 2名中）

（6）第50回理事会

決議日 令和7年3月8日（土）

開催場所 高円寺北区民集会所（東京都杉並区）

決議事項

第1号議案 令和7年度事業計画及び収支予算（案）及び付帯決議について

第2号議案 評議員選任委員会の委員選任について

第3号議案 第16回評議員会の開催について

第4号議案 全国大会等準備基金規程について

第5号議案 令和6年度収支予算の変更について

報告事項

(1) 日本財団からの令和7年度助成事業の内示について

(2) 業務執行状況について

(3) 第2回全国少壮吟詠家選考審査会の開催について

(4) 令和7年度夏季吟道大学参加者の募集について

(5) 第3回(令和7年度)「全国少壮吟詠家選考審査会」候補者の募集について

(6) 第55回全国吟剣詩舞道大会について

(7) 令和8年度全国剣詩舞コンクール指定吟題について

(8) 吟剣詩舞道和歌集の販売について

(9) 月刊「吟剣詩舞」について

(10) その他

出席等 理事 出席 18名、欠席 4名（理事 22名中）

監事 出席 2名（監事 2名中）、オブザーバー 出席 1名

3 監事会

（1）令和5年度決算監事監査

決議日 令和6年6月4日（火）

開催場所 日本吟剣詩舞振興会 会議室（東京都港区）

内容 1. 専務理事挨拶

2. 事業概要報告

3. 決算報告

4. 監事による確認

5. 監事の押印

出欠 監査人として監事 2名出席

日本吟剣詩舞振興会 5名出席

Ⅲ 事業実施の概要

1 一般事業

(1) 協力援助事業

a. 青少年育成に対する協力及び援助を行った。

①全国高等学校総合文化祭・吟詠剣詩舞部門発表会に対する協力援助（岐阜県）

青少年吟剣詩舞道育成基金運用の一環として、第48回全国高等学校総合文化祭「清流の国ぎふ総文2024」吟詠剣詩舞部門に参加した学生及び引率者に対する旅費及び宿泊費の補助を行った。

開催日 令和6年8月2日（金）

場 所 ココロかさなるCCNセンター（岐阜県瑞穂市）

出演者 248名（24都府県、77校より）

補助金 2,000,000 円

②青少年への吟剣詩舞育成推進のための協力援助

下記2件について、青少年育成推進のための協力援助を行った。

1) 第13回 東京都幼少青年吟剣詩舞発表大会

2) 第35回 栃木県青少年育成吟剣詩舞道大会

協力援助費 各100,000円（合計 200,000 円）

b. 傘下団体の行う行事に対する協力援助を行った。

傘下団体の行う吟剣詩舞に関する行事51件に対し、後援名義の貸与等の協力を行った。

(2) 研究開催事業

吟剣詩舞に関する専門委員会の開催を行った。

◎第50回吟詠専門委員会

開催日 令和6年9月15日（日）

場 所 日本教育会館 会議室（東京都千代田区）

出席等 吟詠専門委員 出席 8名（8名中）

オブザーバー 3名 事務局 4名

◎第51回吟詠専門委員会

開催日 令和7年3月8日（土）

場 所 高円寺北区民集会所（東京都杉並区）

出席等 吟詠専門委員 出席 7名（8名中）

オブザーバー 3名 事務局 4名

◎第60回剣詩舞専門委員会

開催日 令和6年7月19日(金)
場 所 オンライン会議システムを使用して開催
出席等 剣詩舞専門委員 出席 6名(8名中)
オブザーバー 1名 事務局 3名

◎第61回剣詩舞専門委員会

開催日 令和6年9月22日(土)
場 所 門真市民文化会館 ルミエールホール 会議室(大阪府門真市)
出席等 剣詩舞専門委員 出席 7名(8名中)
オブザーバー 4名 事務局 3名

◎第62回剣詩舞専門委員会

開催日 令和7年2月14日(金)
場 所 勤労青少年水上スポーツセンター 会議室(愛知県碧南市)
出席等 剣詩舞専門委員 出席 8名(8名中)
オブザーバー 3名 事務局 3名

(3) 功労者表彰事業

令和6年度吟剣詩舞大賞受賞者の選考並びに表彰を行った。

第38回吟剣詩舞大賞選考委員会を開催し、吟剣詩舞功労賞に次の5氏を選考し表彰した。

| | | | | | |
|--------|-----|----|-----|------|-------|
| 吟剣詩舞大賞 | 功労賞 | 宮川 | 紫朋 | 吟詠家 | (新潟県) |
| 〃 | 功労賞 | 毛塚 | 静精 | 吟詠家 | (東京都) |
| 〃 | 功労賞 | 田村 | 天聖月 | 剣詩舞家 | (石川県) |
| 〃 | 功労賞 | 芳倉 | 清峰 | 吟詠家 | (奈良県) |
| 〃 | 功労賞 | 佐藤 | 翔風 | 吟詠家 | (鳥取県) |

2 普及事業

(1) 広報活動事業

吟詠剣詩舞の周知宣伝のための広報活動

a. NHKラジオ・テレビ収録への協力

<ラジオ>

NHK FMラジオ

「邦楽のひととき」

放送日時：令和6年 4月23日(火) 11時00分～11時25分(25分)

出演：巽吟城、松葉水章、関口麗煌、中野祥里、岩永優岳(放送順)

放送日時：令和6年 6月18日（火）11時00分～11時25分（25分）
出演：河野鶴聲、今城龍栄、林杏泉、石川渾凰、向山侑真（放送順）

放送日時：令和6年10月15日（火）11時00分～11時25分（25分）
出演：八代光晃子、佐々木秀景、長谷川素栄、恒成光熙子、和田彩楓（放送順）

放送日時：令和7年 1月 2日（木）10時20分～10時35分（15分）
出演：塩澤宗鳳、加藤契琵、蒔田淳芽心、堤龍美、大山宗鵬、西岡緑優

放送日時：令和7年 1月 3日（金）10時20分～10時35分（15分）
出演：土澤美岳、小池貴心、星野紫栄、石川春海、林煌彩、野上吟鴻

<テレビ>

NHK Eテレ

放送日時：令和6年 6月16日（日）16時10分～16時25分（15分）
出演：塩澤宗鳳、土澤美岳、上岡晁隆、原田光伶子、菊野桜山、伊東響峰、
東京都吟剣詩舞道総連盟 男子（放送順）

放送日時：令和7年 1月 1日（水） 6時35分～ 6時50分（15分）
出演：宇井修光、安藤聖楓、見城星梅月、前田卓霊、浅田聖謙、田村鳳泉、
吟詠道鶴洲流福岡吟詠会 女子（放送順）

b. その他メディア関係への協力

フジテレビ系列 めざましテレビ「キラビト！」

c. 外部レセプションへの協力

「笹川平和財団太平洋島嶼国ウィークス」レセプションへの協力
令和6年7月10日（水）ホテルニューオータニ（東京都千代田区）

スカンジナビア・ニッポン・ササカワ財団創立40周年記念「吟剣詩舞の夕べ」
令和6年11月7日（木）明治記念館（東京都港区）

東京国立博物館 新春イベント
令和7年1月2日（木）・3日（金）本館前ステージ（東京都台東区）

3 振興事業

(1) 吟詠教本発行事業

吟詠統一教本(既刊図書)を作成配布した。※()内は前年度販売実績

| | |
|-------------------------------|------------|
| ・ 吟剣詩舞道漢詩集(絶句編)解説書…………… | 44部(47部) |
| ・ 吟剣詩舞道漢詩集(律詩・古詩編)解説書…………… | 40部(43部) |
| ・ 吟剣詩舞道漢詩集(続絶句編)解説書…………… | 36部(35部) |
| ・ 吟剣詩舞道アクセント付漢詩集(絶句編)…………… | 165部(153部) |
| ・ 吟剣詩舞道アクセント付漢詩集(律詩・古詩編)…………… | 81部(92部) |
| ・ 吟剣詩舞道アクセント付漢詩集(続絶句編)…………… | 149部(143部) |
| ・ 幼少年向けテキスト『はじめての吟詠』…………… | 60部(56部) |

(2) 会報発行事業

吟剣詩舞に関する広報並びに情報誌として、月刊「吟剣詩舞」を発行した。

令和7年3月31日現在の有料発行部数は4,077部(昨年度4,198部)である。

(3) 教材頒布事業

吟剣詩舞道吟詠集(CD、カセットテープ)の作成配布及び吟剣詩舞道伴奏集(同)の監修指定など、吟剣詩舞に関する教材の製作頒布並びに既刊教材の頒布促進を行った。

※()内は前年度販売実績

教材としての吟詠集の製作頒布数

| | |
|--------------------|----------------|
| ・ 吟剣詩舞道吟詠集CD…………… | 2,995本(2,916本) |
| ・ よみがえる名吟集CD…………… | 5本(8本) |
| ・ 和歌新撰集「令和」CD…………… | 3本(3本) |
| ・ よみがえる名吟集2CD…………… | 5本(940本) |

教材としての伴奏集の製作監修並びに振興会指定数

| | |
|--------------------------|------------|
| ・ 吟剣詩舞道伴奏集CDの指定数…………… | 278本(373本) |
| ・ 吟剣詩舞道伴奏集テープの指定数…………… | 0本(5本) |
| ・ 続・吟剣詩舞道伴奏集CDの指定数…………… | 127本(150本) |
| ・ 続・吟剣詩舞道伴奏集テープの指定数…………… | 0本(0本) |

4 日本財団助成事業

(1) 事業名「吟剣詩舞の普及振興のための大会・コンクール・講習会の開催」

①全国吟剣詩舞道大会

目標

吟剣詩舞界最大の催しである「全国吟剣詩舞道大会」では、多くの吟剣詩舞愛好家が全国より集結し、「全国吟詠合吟コンクール」等が行われる。

達成状況

全国吟剣詩舞道大会は初めて東日本地区以外での開催となったが、開催地の岡山県の役員と連携を取り、大きな混乱なく開催でき、内容も地元の特徴を出すことができた。

「高松宮妃癌研究基金奉賛 第54回全国吟剣詩舞道大会」の開催

| | |
|------|---|
| 開催日 | 令和6年11月10日(日) |
| 場所 | 倉敷市民会館・大ホール(岡山県倉敷市) |
| 来場者 | 1,920人 |
| 参加人数 | 1,353人 |
| 後援 | 文化庁、岡山県、日本財団、NHK |
| 奉賛等 | 公益財団法人 高松宮妃癌研究基金 (奉賛金1,500,000円) 公益財団法人 笹川保健財団 (寄付金1,500,000円) |
| 補助金 | 倉敷コンベンションビューロー(100,000円) |

②コンクール

目標

吟詠、剣舞及び詩舞の技術及び芸術的向上の機会として、令和6年度は、全国吟詠コンクールと全国剣詩舞コンクールを開催する。各コンクールでは、基本的な技術・表現力を適切に審査し公表することにより技量のレベルアップを図り、全国で活躍できる人材を発掘・育成する。剣詩舞コンクール決勝大会については昨年に引き続き大阪での開催とする。

また、少壮吟詠家選考審査会は、日本吟剣詩舞振興会認定の少壮吟士として吟界を牽引する人物を育成、発掘する場としていきたい。

達成状況

吟詠・剣詩舞コンクールを吟剣詩舞道界最大のコンクールとして開催することにより、全国の吟詠家・剣詩舞家が日頃の研鑽の成果を競い合うことが可能となり、吟剣詩舞道界の発展と普及振興、さらには全体の技量向上の場を提供することができた。

また、剣詩舞コンクールは昨年に引き続き大阪での開催となったが、地元役員の手助けもありスムーズに行うことが出来た。

昨年よりスタートした少壮吟詠家選考審査会では、少数精鋭の有望な若手吟詠家の育成と、日本吟剣詩舞振興会認定少壮吟士として吟界を牽引する人物の選抜を同時に行う形で実施し、今回1名の少壮吟士候補が誕生した。

a. 令和6年度全国吟詠コンクール決勝大会

開催日：令和6年9月16日（月・祝）

場 所：日本教育会館（東京都千代田区）

参加人数：153人

b. 令和6年度全国剣詩舞コンクール決勝大会

開催日：令和6年9月23日（月・祝）

場 所：門真市文化会館（大阪府門真市）

参加人数：132人

c. 少壮吟詠家選考審査会

1) 少壮吟士準候補研修会

開催日：令和7年1月12日（日）

場 所：勤労青少年水上スポーツセンター（愛知県碧南市）

参加人数：16人

※令和6年8月の開催を予定していたが、台風のため延期して開催した。

2) 少壮吟詠家選考審査会

開催日：令和7年3月9日（日）

場 所：梅若能楽学院会館（東京都中野区）

参加人数：17人

③講習会

目標

指導者の育成を目的として行われる夏季吟道大学・剣詩舞道大学及び、吟界を代表する少壮吟士の実力向上を目的に行われる少壮吟士夏季特別研修会を合宿形式で開催する。参加者の意向を汲み取り、充実した内容での実施を目指す。

達成状況

夏季吟道大学・剣詩舞道大学を開催することにより、全国の吟詠及び剣詩舞指導者の育成を進めることができ、また参加者同士の横のつながりを生み出すことにより地方での吟剣詩舞活動の活性化の一助となった。また、少壮吟詠家夏季特別研修会を通じて、日本吟剣詩舞振興会が認定する少壮吟士の技能向上と少壮吟士としての役割の理解を深め、心構えを養うことができた。

a. 令和6年度夏季吟道大学の開催

開催日：令和6年7月20日（土）～21（日）

場 所：勤労青少年水上スポーツセンター（愛知県碧南市）

参加人数：41人

b. 令和6年度少壮吟士夏季特別研修会の開催

開催日：令和6年8月24日（土）～25（日）

場 所：勤労青少年水上スポーツセンター（愛知県碧南市）

参加人数：47人

c. 令和6年度剣詩舞道大学の開催

開催日：令和7年2月15日（土）～16（日）

場 所：勤労青少年水上スポーツセンター（愛知県碧南市）

参加人数：37人

④次年度開催準備

目標

事前に会場経費を支払うことにより、翌年度開催の大会やコンクールの円滑な事業推進の一助とする。

進行状況

令和7年度開催事業に利用する会場を令和6年度中に確保するため、会場費の前金支払い等の準備を行った。

a. 第55回全国吟剣詩舞道大会の開催準備 令和7年11月11日（火）

b. 令和7年度全国吟詠コンクール決勝大会の開催準備
令和7年9月15日（月・祝）

c. 令和7年度全国剣詩舞コンクール決勝大会の開催準備
令和7年9月23日（火・祝）

事業費総額及び助成金等

| | |
|-------|-------------|
| 事業費総額 | 51,563,875円 |
| 助成金 | 51,563,000円 |
| 自己負担分 | 875円 |

(2) 事業名「吟剣詩舞の普及振興のための調査研究」

①-1 公式ウェブサイトの開発等インターネットを利用した吟剣詩舞の広報の促進 目標

公式Webサイトや、YouTube、Twitter、Facebook、Instagram等のSNSを通して、コンクールや全国大会の他、研修会の様子など、日々新しい情報を新鮮なうちに発信するほか、地方でのイベント活動など取り上げ、エリアや時間を超えて、吟剣詩舞道に広く親しめるツールとしての役割を担う。

達成状況

大会やコンクールなどの告知や開催後のダイジェスト動画など、タイムリーに情報をアップすることで、一定の視聴者層を獲得。公式YouTubeチャンネルの登録者数では、令和6年3月末に10,000人を突破、今年度（令和7年3月末）で15,800人となり、年間で約6,000人の登録者増となった。

①-2 外部有識者会議を通じた広報活動や業界全体の強化検討

目標

吟詠人口が急速に高齢化している、業界の現状を好転させるために有効な手法等の提言をいただくため、外部識者検討会を開催し、活性化へ繋げていく。

達成状況

3回にわたり、外部識者検討会を開催し、経験と知見豊かな外部識者の方々より、吟剣詩舞人口増への7年ぶりに武道館で開催する全国吟剣詩舞道大会に向けて、新しい視点からのアドバイスやご提案をいただいた。また、斬新なものだけではなく、伝統文化に携わる方々の（少し保守的な）思考にも寄り添い「何を守り、何を変えていいのか（外連味と伝統の塩梅）の見極めが重要である」など、今後新しいことを取り入れる上での軸になる観点のご意見をいただけた。

| | | |
|-----|----------------|---------------|
| 第1回 | 6月24日（東京都港区） | 外部委員5名、内部委員5名 |
| 第2回 | 8月25日（東京都千代田区） | 外部委員5名、内部委員5名 |
| 第3回 | 9月26日（東京都千代田区） | 外部委員4名、内部委員5名 |

②各地区連絡協議会との意見交換会の開催

目標

各地区連絡協議会が置かれている現状を理解するため、各地区との意見交換会を適宜開催する。

達成状況

16箇所へ訪問し、普段顔を合わせられない現地の方々と対話することができた。各地区で開催される記念大会や研修会のほか、役員会議などにも参加し、直接対面することで伝わる熱意や誠意をお互いに感じる事ができた。今後の友好的な活動や、活性化につながっていくことを期待したい。

| 開催日 | 場 所 | 内 容 |
|----------------|--------------|--|
| 1. 令和6年 4月14日 | (東北地区・仙台) | 東北地区連絡協議会 臨時役員会へ出席 |
| 2. 令和6年 8月 1日 | (中部地区・岐阜) | 全国高等学校総合文化祭りハーサル視察、 高等学校文化連盟全国吟詠剣詩舞部門会へ出席 |
| 3. 令和6年 8月 2日 | (中部地区・岐阜) | 全国高等学校総合文化祭吟詠剣詩舞部門へ出席 |
| 4. 令和6年 8月 3日 | (東日本地区・品川区) | 東日本地区剣詩舞特別研修会へ出席 |
| 5. 令和6年 8月31日 | (東日本地区・千代田区) | 第50回吟道真萩流温習会記念祝賀会へ出席 |
| 6. 令和6年10月 5日 | (東日本地区・群馬) | 第48回県民芸術祭参加事業第60回群馬県吟剣詩舞道大会、第15回幼少青年吟剣詩舞発表会へ出席 |
| 7. 令和6年10月20日 | (東北地区・仙台) | 東北地区連絡協議会緊急役員会および理事長会議へ出席 |
| 8. 令和6年10月20日 | (東北地区・福島) | 福島県大熊町にて「日本と西洋の総合伝統芸術吟剣詩舞&オペラ実演と体験会」へ出席 |
| 9. 令和6年10月29日 | (近畿地区・和歌山) | 和歌山県吟剣詩舞道総連盟の休止に対する打合せ、 および近畿地区関係者との打合せ |
| 10. 令和6年11月17日 | (東日本地区・品川区) | 第36回東日本地区吟詠指導者特別研修会へ出席 |
| 11. 令和6年11月24日 | (四国地区・高松) | 第12回四国地区吟詠剣詩舞指導者特別研修会へ出席、 四国地区関係者と打合せ |
| 12. 令和6年12月22日 | (九州地区・大分) | 第37回少壮吟士吟詠チャリティーへ出席、九州地区連絡協議会ならびに大分県総連関係者との打合せ |
| 13. 令和7年 1月 5日 | (東日本地区・横浜市) | 第6回東日本聖吟士会「吟詠と研修の集い」へ出席 |
| 14. 令和7年 2月 2日 | (四国地区・高松) | 当会副会長 徳田寿風先生「令和6年度香川県文化功労者顕彰受賞記念祝賀会」へ出席、 四国地区関係者との打ち合わせ |
| 15. 令和7年 2月19日 | (近畿地区・京都) | 「サムライ剣舞シアター」設立10周年レセプションへ出席、 近畿地区関係者と打合せ |
| 16. 令和7年 3月19日 | (近畿地区・大阪) | 大阪・関西万博のイベント出演のための会場下見、 近畿地区関係者と打合せ |

③宗家・会長会議の開催

目標

評議員や理事会等の役員以外で、集う機会のない各地区の宗家や会長との交流・意見交換の場として、宗家・会長会議を開催する。

達成状況

全国からご参加いただき、これまでの活動や、イベントの開催にあたり工夫していることなどが紹介された（喫茶店と交渉して、一人でミニコンサートを行った方、また、イベントを開催する場合は、無料より、たとえ50円でも100円でもチケットに値段をつけた方が、付加価値が生まれて人が集まりやすいなど）。自分も参考にしたいという方も多く、それぞれが地元での今後の活動に活かせるアイデアを持ち帰ることができ、意義のある意見交換会となった。

開催日 : 令和7年1月16日(木)

場所 : 日本財団 第1・2・3・4会議室(東京都港区)

参加人数 : 39人

④吟詠・剣詩舞スーパーチーム研修会の開催

目標

吟剣詩舞道界の花形として、将来有望な若手吟剣詩舞道家により結成された「吟詠・剣詩舞スーパーチーム」の技術向上を図る

達成状況

以下、4回の研修会を開催した。

開催日 : 1) 令和6年6月30日(日) 2) 令和6年9月22日(日)

場所 : 1) 兵庫県神戸市 2) 兵庫県神戸市

参加者 : 1) 11名 2) 3名

開催日 : 3) 令和6年10月5日(土) 4) 令和7年3月20日(木・祝)

場所 : 3) 兵庫県神戸市 4) 静岡県静岡市

参加者 : 3) 17名 4) 4名

- 1) 剣詩舞スーパーチームの稽古。11月10日開催「第54回全国吟剣詩舞道大会」内の特別企画構成番組『衣川』をメインに。
- 2) 吟詠スーパーチームの稽古。11月10日開催「第54回全国吟剣詩舞道大会」内の特別企画構成番組『衣川』をメインに。
- 3) 吟詠チーム・剣詩舞チーム合同での稽古。11月10日開催「第54回全国吟剣詩舞道大会」内の特別企画構成番組『衣川』をメインに。
- 4) 剣詩舞チームの稽古。出演依頼があった「静岡まつり」(令和7年4月4日)のための稽古をメインに。

⑤新吟詠集（和歌編）の編纂

目標

日本人に親しみのある「和歌」をテーマとした、「吟剣詩舞道和歌集」の制作を行い、吟剣詩舞道人口の拡大を目指す。

達成状況

監修や解説をご担当いただいた大学機関関係者の方々、当会の会長はじめ吟詠専門委員の協力により、3月末までに6,000部を印刷、納本が完了した。翌4月より所属関連団体向けにまとめて注文を受ける他、公式ホームページ内のオフィシャルストアでも販売し、一般向けとして、Amazonや楽天での発売も予定している。

事業費総額及び助成金等

| | |
|-------|-------------|
| 事業費総額 | 80,130,140円 |
| 助成金 | 80,130,000円 |
| 自己負担分 | 140円 |

IV 届出・報告事項

令和6年6月27日

- ・令和5年度事業報告等の提出（内閣府）

令和7年3月28日

- ・令和7年度事業計画書等の提出（内閣府）

V 附属明細書について

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定される附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和7年6月
公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会

